

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	建築設備	
科目基礎情報							
開設学科	建築学科		コース名			開設期	後期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位		開講時間			授業形態	講義
教科書/教材	「初学者の建築講座 建築設備」 大塚雅之 著 市ヶ谷出版社／ノート、色鉛筆、定規を持参						
担当教員情報							
担当教員	藤原 正城			実務経験の有無・職種	有・建築設備設計		
学習目的							
建築計画・設計を行なう上で必要とされる「建築設備」について学習する。安全で衛生的かつ快適な室内環境を創り出すアクティブな手法の基礎知識を取得し、これからも一層興味を持つきっかけとなる様楽しく学ぶ。							
到達目標							
建築設備概論から始め、給排水衛生・空気調和換気・電気・搬送設備について教科書を活用し,時には、実務的な経験談を織り込みながら出来るだけ平易に解説する。将来の2級建築士受験にあたり、必要な基礎知識を学ぶことを目標とする。							
教育方法等							
授業概要	教科書をベースにして重要な項目については板書にてノートを書させる。 期末試験、確認テストおよび出欠、授業中の態度で総合的に判断して評価する。 毎回確認テストを実施するので管理をしっかりとすること。						
注意点	授業ノートを必ずとること、丁寧に書く必要はなくメモで構わない。 授業時数の 3／4 以上 出席しない者は、不合格とする。 私語・いねむり・着帽等 注意する。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	成果発表 (口頭・実技)	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	建築設備の概論			建築設備とは、地球環境と建築設備			
2回	給排水衛生設備			給水設備 について把握する			
3回	給湯設備、ガス設備			給湯設備、ガス設備について把握する			
4回	排水設備			排水 通気設備と排水処理設備 について把握する			
5回	衛生器具設備			衛生器具設備 について把握する			
6回	消火設備			消火設備 について把握する			
7回	空気調和設備			空気調和設備の概要と、空気調和と室内環境 について把握する			
8回	空調負荷について			空気の状態を知り、空調負荷の考え方を把握する			
9回	空気調和方式について			空気調和方式の種類・特徴と設備計画、熱源・熱搬送設備と機器部材 について把握する			
10回	換気設備 について			換気・排煙設備、及び自動制御設備 について把握する			
11回	電気設備			電気設備の概要 について把握する			
12回	変電設備 動力設備			受変電・幹線設備、及び動力設備 について把握する			
13回	自家発電設備 照明設備			自家発電・蓄電池設備、及び照明・コンセント設備 について把握する			
14回	情報設備			情報・通信設備、及び防災設備 について把握する			
15回	搬送設備			搬送設備（エレベータ、エスカレータ、その他搬送設備）について把握 総まとめ			